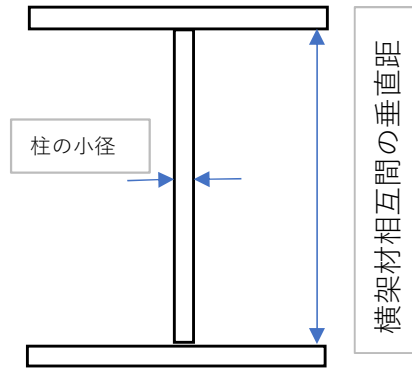


# 木造仕様規定- 7 柱の小径等

## (1) 柱の小径



$$H = 3000 - 105 - 150 = 2,745 \text{ mm}$$

$$\text{柱の小径} = 2745 \div 33 = 83 \text{ mm} \square$$

$$\text{柱の小径} = 2745 \div 30 = 92 \text{ mm} \square$$

$$\text{柱の小径} = 2745 \div 28 = 98 \text{ mm} \square$$

**105mm□柱で全てOK**

## (2) 細長比

柱の有効細長比は、150以下としなければなりません。(令43条第6項)

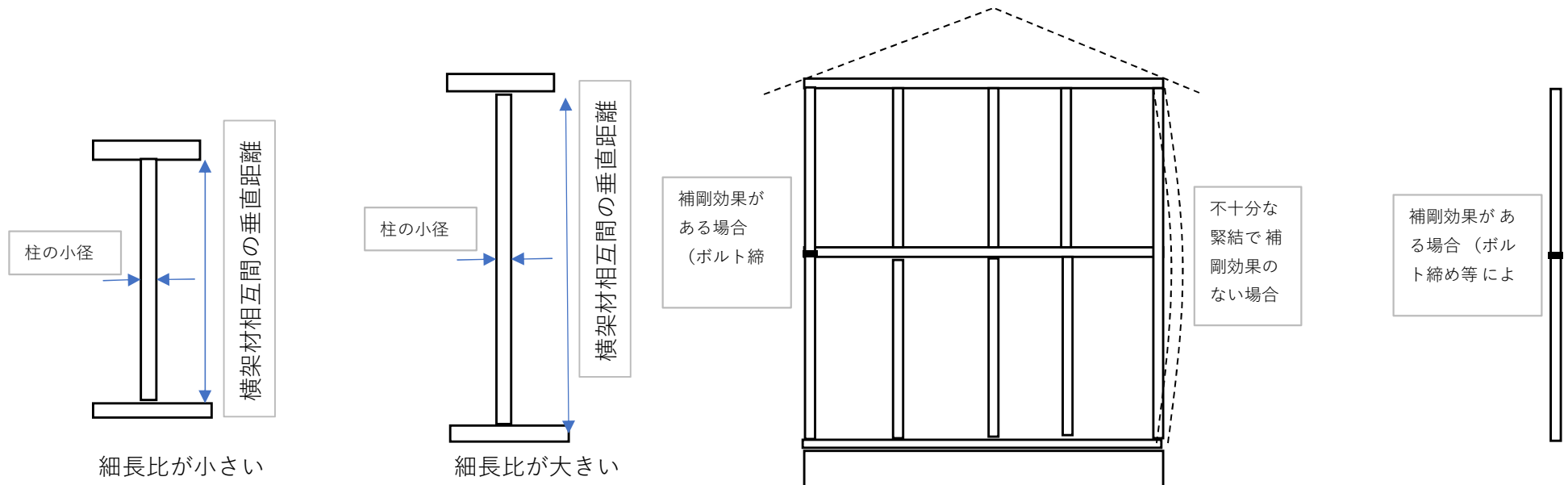


図1-17 横補剛効果\*

表1-17 有効細長比が150以下となる柱寸法と長さの限度の算定

柱寸法 (mm角)	90	105	120	135	150
長さの限度 (mm)	3,890	4,540	5,190	5,840	6,490

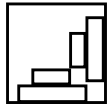
### (3) 柱の欠取り

柱の所要断面積の**1/3以上**を欠き取る場合は、その部分を補強しなければなりません。（令43条第4項）

「2007年版建築物の構造  
関係技術基準解説書」  
（国土交通省住宅局建築  
指導課他監修、平成19年  
8月）が参考になります。

通し柱の切欠き

仕口名：エリ付ホソ差し



エリ =  $w60 \times d15$   
ホソ =  $w30 \times d15$

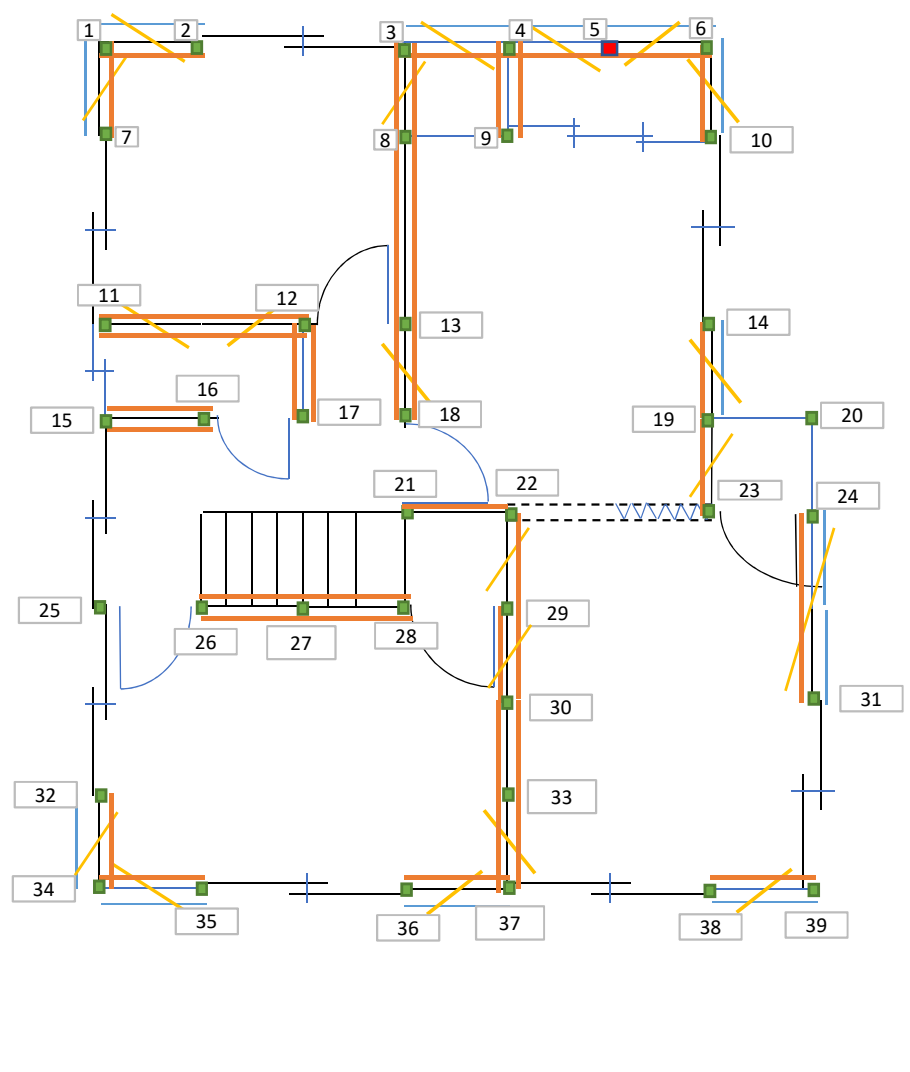
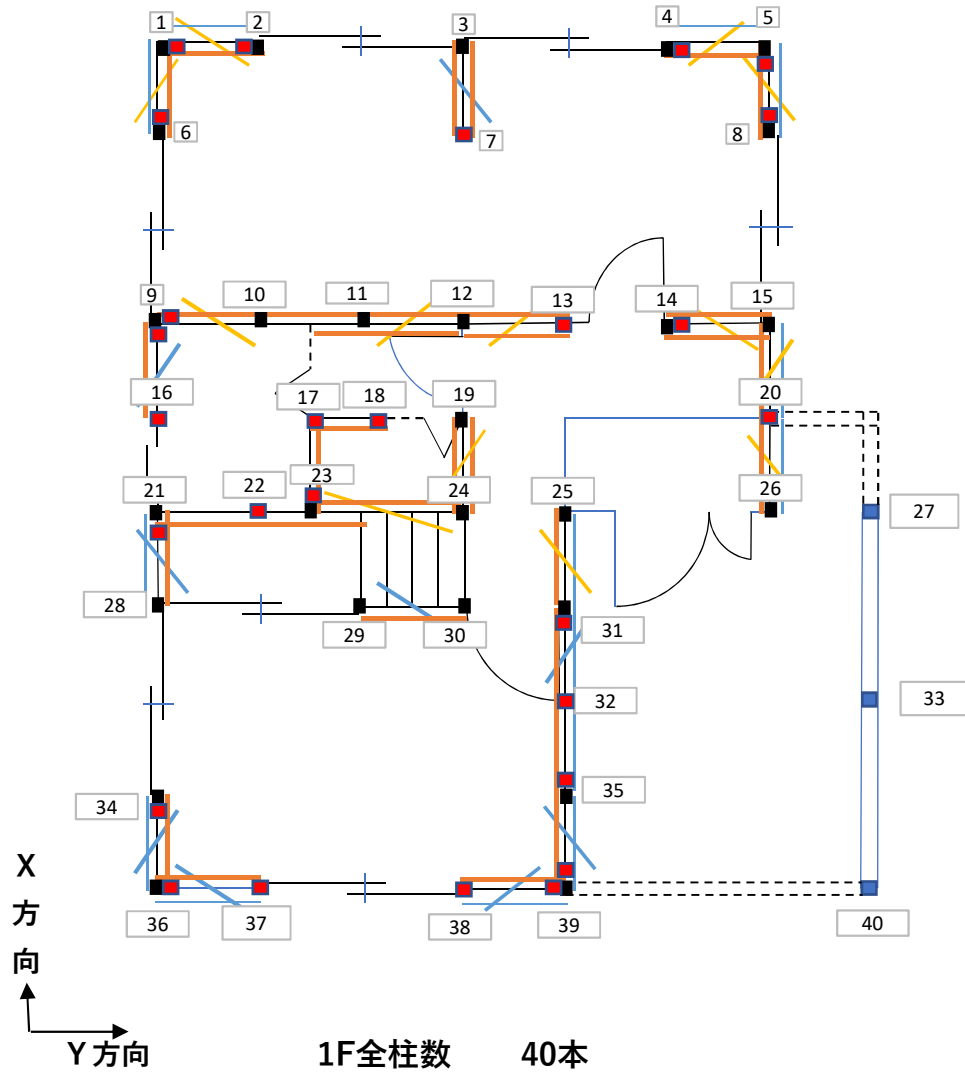
	1面の切欠き 面積 S	2面の切欠き 面積 S	3面の切欠き 面積 S	4面の切欠き 面積 S mm <sup>2</sup>	120通し柱の 断面積 mm <sup>2</sup>	4面の切欠き 面積 S mm <sup>2</sup>	135通し柱の 断面積 mm <sup>2</sup>
	900	1,800	2,700	3,600		3,600	
	450	900	1,350	1,800	14,400	1,800	18,225
	1,350	2,700	4,050	5,400		5,400	
欠き取割合	<b>0</b>	<b>1/5</b>	<b>2/7</b>	<b>3/8</b>		<b>2/7</b>	
可否	<b>OK</b>	<b>OK</b>	<b>OK</b>	<b>NO</b>		<b>OK</b>	

# 7 柱の小径等

## 柱の補強 ■

1F

2F



1F全柱数 40本  
1F補強柱数 27本